



その日に
備える



6月24日に行った町職員災害図上訓練(町中央公民館)

いつかくるその日のために

毎年のように発生する豪雨災害から命を守るためには、日頃から防災知識を身につけることや非常用持ち出し品の備えをしておくことが大切です。災害発生のおそれがある場合には、テレビやインターネットなどで気象情報を収集し、早めの避難が肝心。今一度、家族や隣近所の方たちと防災情報の共有や話し合いをしてみてください。

| 危険度 | 警戒レベル | 状況 | 住民が取るべき行動 | 避難情報等 |
|--------------------|----------------|-------------|-----------------|-----------------|
| 高い ↑ ↓ 低い | 5 | 災害発生または切迫 | 命の危険ただちに安全確保 | 緊急安全確保※1 |
| | 警戒レベル4までに必ず避難! | | | |
| | 4 | 災害のおそれ高い | 危険な場所から全員避難 | 避難指示 |
| | 3 | 災害のおそれあり | 危険な場所から高齢者などは避難 | 高齢者など避難※2 |
| | 2 | 気象状況悪化 | 自らの避難行動を確認 | 大雨・洪水注意報(気象庁)など |
| 1 | 今後気象状況悪化おそれ | 災害への心構えを高める | 早期注意情報(気象庁) | |

※1) 災害の状況を確実に把握できるものではないといった理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではありません。
※2) 警戒レベル3は、高齢者でない人も必要に応じ避難の準備を始め、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。